

西部地域支え合い 協議会だより



令和4年3月1日発行
発行 西部地域支え合い協議会
発行責任者 小川 光昭
鶴ヶ島市西市民センター1階
☎・fax 049-214-4005

令和4年度を迎えるにあたって

会長 小川 光昭



本年度も、あとわずかとなりました。皆様もご承知のように、感染症蔓延防止のため、我々支え合い協議会の活動も、各種制限の中、自発的に中止する場面が散見されました。クラスターの発生を防ぐため、本来の皆様との活動を行わないことが、最も皆様の安全のためになるという皮肉な状況が生じ、役員一同はなほだ残念な思いが続いておりますが、まだしばらくは我慢を重ねる気持ちで努力を続けなければと自覚しております。

濃霧の後は、晴天になると言われています。そのときには力一杯、皆様のために励みたいと考えております。次年度もなにとぞよろしくお願いいたします。



助け合い隊、がんばっています！



助け合い隊部会 部長 野村 福勇

令和3年度もそろそろ幕を閉じようとしています。感染症拡大の影響で、協議会は十分な活動ができませんでしたが、一部、特に助け合い隊は、なんとか活動を継続することができました。

年度当初は、全く手探り状態で、何ができるのか、何はできないのかも分からない状況でした。我々自身では、正確な医学的知見も有していないので、市や国等の指針に従い、その時々でもっとも適切であろうという方策を信じて活動する以外にありませんでした。

まず、ワクチン接種は行うべきであると考え、夏休みの終わる前に、助け合い隊の活動可能なメンバーは、全員2回目の接種を終了いたしました。少しずつ制限を見直す状況になってきましたので、秋頃からは、屋内の支援活動ならびに支援を依頼してきた利用者の方と長い時間接することのない、屋外でかつ作業実施者が密にならないような活動から開始することにしました。すると、市民の皆様から待ちかねたかのように依頼が入ってきました。我々の支援を必要とされる方の存在に、我々も励まされました。

ただ我々助け合い隊のメンバーも年々年をとってきており、作業が段々厳しいと感じるようになってきました。幸いなことに、今年度は各行事の開催が中止されることが多く、助け合い隊の予算も、比較的軽易に使うことができたため、省力化を目途とする装具の補修や、更新、新規購入などを行うことができ、多少安心できました。

令和4年度も、皆様のお困りごとの支援にがんばっていきたいと思います。しかし、我々のできる能力はわずかなものです。もし可能でしたら、ぜひ、一緒に助け合い隊で困っている方々の支援活動をしていただけないでしょうか。どのようなお力でも結構ですので、一度、西部地域支え合い協議会の事務所にご連絡いただきたいと思います。(電話 049-214-4005 です。) 助け合い隊、がんばっています！

つながりから支え合いへ 西部地域支え合い協議会への期待

鶴ヶ島市社会福祉協議会 牧野 郁子



私は、鶴ヶ島市社会福祉協議会（以下、社協）の地域福祉担当職員として、西部地域支え合い協議会（以下、西部支え合い）の活動にかかわらせていただき、地域のつながりと地域ニーズに基づいた活動の実践や一人ひとりを大切にする丁寧な地域福祉活動の在り方を学ばせていただいています。

孤立しがちな男性のつながる料理教室、茶話やかサロンや敬老のつどい事業では、参加される方一人ひとりを大切にする事業実践を行っていました。また、若い世代の参加できる事業も熱心に取り組み、西部地域のニーズに応じた活動を実践していただいています。

さて、私の所属している社協は社会福祉法 109 条に位置付けられた公共性の高い社会福祉法人です。民間の社会福祉の専門職として「誰もがすみよい鶴ヶ島」を目指し、小地域ごとの地域支え合い協議会の組織化にも取り組んできました。基本理念は「住民ニーズ（住民自身が必要としていること）」を捉え「住民主体（住民自らが主体となって）」と「公私協働（行政や様々な機関が協働で取り組む）」がベースとなっています。これは、地域支え合い協議会の理念とも重なっており、それぞれが自分の持っている力を活かし「自分の住む地域をよくしたい」という思いと同じです。

西部支え合いの皆様から重要な課題提起をいただいています。例えば、困窮者の助け合い隊の費用負担等です。活動を真剣に進めるが故、様々な課題を見出しており、その姿勢に深く感謝しています。今後も、様々な困難や問題、また、規則や前例にないことも多く出てくると思います。現在の社会情勢、また、複雑な課題が地域にあることを考えれば当然のことです。

支え合いの活動も、個人ではなく、身近な組織が行うことで、継続性やその質を高め、仲間づくりにつながり、地域での孤立孤独を防ぐことができると考えています。

西部支え合いの皆様の活動に感謝し、ますますの発展と地域に根差した組織としての強みをさらに活かす活動を期待しています。社協も、共に実践するパートナーとして尽力させていただきますので、今後ともよろしくお願いたします。



社協マスコット、メルメル・ゲーコです。

西部地域支え合い協議会第6回定期総会のご案内

事務局

令和3年度も、残り少ない日程となりました。西部地域支え合い協議会第6回定期総会の開催が決まりましたので、お知らせ致します。

日時：令和4年4月24日（日）

ただし、昨年に引き続き、第6回の総会も残念ながら、委任状形式で実施せざるを得ない状況になりましたことをご詫びしなければなりません。近日中に会員の皆様には、総会資料とともに、返信用の委任状はがきがお手元に届くと思いますが、ご審査の上、記載の期日までに、送付のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

今年度も、感染症の影響により、各種の制限が課され、恒例のイベントなどが軒並み中止せざるを得ない状況でしたが、役員一同精一杯努力したつもりです。実施できなかった行事関係の予算は、その趣旨から市へ返納いたす予定です。4年度に関しては、全ての行事等が、例年とは形を変えるかもしれませんが、実施可能という前提で、行事予定と予算を組むことを考えております。

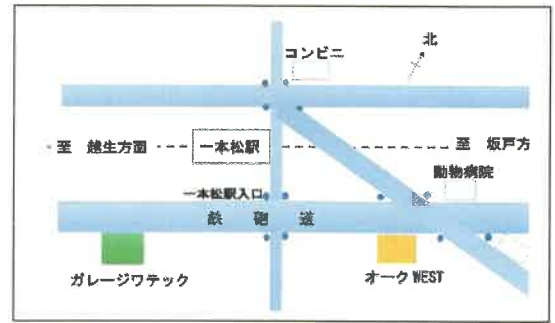
会員を始め、協力団体、ご支援をいただいた関係各位の皆様には、西部地域支え合い協議会の活動に理解をしていただき、率直なご意見、ご指導を得ることを期待しております。

よろしくお願いたします。

ありがとうございます支援店紹介

今回は、「ガレージワテック」さんと「クリーニング オーク WEST」さんを紹介させていただきます。お店の紹介も、9店舗になりました。皆様、一度くらいはご利用なさいましたか？次回も、まだまだ続きますので楽しみに！

どのお店も、「ありがとうございます」1枚からでも、使用しなくても大丈夫ですよ。



ガレージワテック

新町 2-2-13 ☎049-272-3900

こんにちは。新町二丁目の鉄砲道沿いにて営業しております、二輪販売・修理・整備店のガレージワテックです！

店主のこだわりと致しまして、オートバイ・自転車ともに『長く』『安心して』乗り続けて頂けるよう、信頼のおけるメーカーのものでの整備・修理をおすすめしております。

19歳より二輪業にたずさわり得た技術を、「命を乗せて走る」を信条に一台一台丁寧に、整備士としての誇りをもって作業させていただきます。

故障してしまったオートバイ・自転車・車イス・リヤカーなどなど、まずはご相談ください。引き上げ配送もやってます。中古のバイク・自転車もありますので、お気軽にご来店ください！

(当店は関東運輸局長認証工場・自転車安全整備店です)

【営業時間】10:30~19:30 【定休日】月曜日・イベント参加日

【e-mail】watech@h4.dion.ne.jp 【HP】<https://watech.jimdo.com/>



ガレージワテック
さんです。



オーク WEST
さんです。



クリーニング オーク WEST

下新田 261-3 ☎049-285-7751

Anniversary47

おかげさまをもちまして当店オーク WEST は本年1月、47周年を迎える事が出来ました。1975年当地で開業以来、地域皆様のご支援があったからこそ今日まで続けることができました。深く感謝申し上げます。

店名は鶴ヶ島西地区の店舗のためクリーニングオーク WEST と名付けました。またオークは、真っ直ぐのびる木・榎の木ですのでドライブスルーの入り口でそんな願いをこめたオークの木(榎の木)が当店のシンボルツリーとして植えてあります。

現在 私2代目大山亮が、「キレイに拘り 礼儀正しく親切な店」をコンセプトに、以前の量産体制から拘りの専門店へ技術革新を進めています。

洗浄からシミヌキ仕上げまでこだわりのクリーニングをぜひお試しください

ご来店お待ちしております。

【営業時間】09:00~19:00 (日・祝18:00閉店) 【定休日】木曜日



西部地域歴史散策

-まぼろしの大屋駅-



戦前の越生線地図を見ると確かに一本松駅と西大家駅の間に、駅の印があります。

今回は、地域住民の生活・通勤・通学の足として、長年にわたり親しまれてきた東武越生線について調べてみたいと思います。

鉄道は、一度ひかれるとなかなか路線を変えることは難しいのですが、その沿線風景は時代とともに変化していくようです。越生線にも、興味を惹く歴史がありました。

越生線は、坂戸駅から越生駅までの約 11 キロを結ぶ主に砂利を運ぶ貨物営業として 1932 年（昭和 7 年）2 月に越生鉄道として開業しました。1934 年には、旅客運輸営業を開始しました。当時、機関車の吐き出す煤煙で、住民に迷惑がかかることから気動車（ガソリンカー）が使われました。この車両は、観光バス位の大きさを最高速度 30 キロ、定員 40 名だったそうで、沿線住民に初めての鉄道の交通機関として、大きな期待をもたせました。開業 5 年後の 1940 年（昭和 15 年）には輸送人員は月間 1 万 5 千人に達しました。

その後、1943 年（昭和 18 年）に、越生鉄道を東武鉄道が買収し、東武越生線となりましたが、戦時中の 1944 年、軍部により不要不急線とみなされ全線営業休止となってしまいました。大戦終了の 1945 年 11 月に全線運行再開されました。

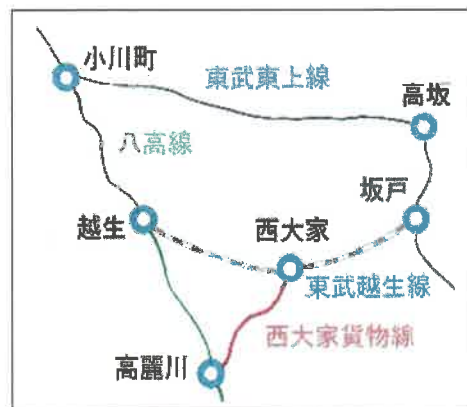
この時の記録に、「同年 12 月、大屋駅廃止」と書かれており、かつて「大屋駅」が存在していたらしいということが分かりました。当時の、地図を調べてみると、確かに、今の「一本松駅」と、「西大家駅」の間に、駅の表示がありました。

現在どうなっているのか、編集員が歩いてきましたが、痕跡を発見することはできませんでした。付近の方に聞いてみても、あったらしいと言うことを耳にした人はいても、目にした方はいませんでした。80 年近い月日が遠く感じられます。

そのまま、西大家駅に向かって歩いて行くと、少し周りと違う風景のところに出会いました。調べてみると、かつて、ここに日本セメント専用線が引かれておりその跡地が、まだ残っているとのことでした。この線は、西大家貨物線と呼ばれ、1963 年（昭和 38 年）に開業し、西大家信号所で越生線と分岐し、日本セメント埼玉工場内（現・太平洋セメント埼玉工場）の日高を結んでいたものです。この線もまた、ダンプカー輸送に切り替わり、1984 年（昭和 59 年）に廃止となりました。

少しマニアックになりますが、越生線には、撮り鉄などのファンがいる「カステラ電車」と呼ばれた電車が走っていました。80 年代の写真がありますが、クリーム色の車体と茶色い屋根から「カステラ電車」との愛称が生まれたようです。

越生線も路線は残っても、乗客は次々と変わり、沿線の風景も変化していくでしょう。交差する道路などができると、立体式になったり、駅が増えたり、もしかするとモノレールになるかもしれませんね。



西大家貨物線の位置関係



当時の「カステラ電車」よく見ると坂戸—越生の表示があります。